

江迎地区医療機関等連絡先一覧表

保存版

医療機関

名 称	住 所	電話番号
北松中央病院	江迎町赤坂299	65-3101
潜竜徳田循環器科内科整形外科病院	江迎町田ノ元467	66-9221
たいら内科	江迎町三浦51-1	73-1050
川上歯科医院	江迎町長坂145	65-2028
山部歯科医院	江迎町長坂180-9	65-2101
石井整骨院	江迎町北平15-11	66-2665

福祉施設

名 称	住 所	電話番号
特別養護老人ホーム 老福荘	江迎町赤坂282-24	65-2607
グループホーム えびらお	江迎町栗越801-2	66-2660
グループホーム まさき	江迎町猪調1062-3	66-9388
グループホーム 泰葉	江迎町北平6-1	66-3881
小規模多機能ホーム 愛輝	江迎町三浦22-19	73-1500
障がい者支援施設 白岳学園	江迎町奥川内300-1	66-8433
江迎ひかりステーション	江迎町三浦39-1	65-3165
社会福祉法人一粒の麦の会 指定障害福祉サービス事業所 サクラ	江迎町栗越199	65-2520
佐世保市社会福祉協議会江迎介護事業所	江迎町赤坂282-24	65-2252

幼稚園・保育園

名 称		住 所	電話番号
認定こども園	江迎幼稚園	江迎町長坂50-1	65-2415
	江迎保育園	江迎町長坂25-3	65-2439
認定こども園	江迎青い実幼児園	江迎町猪調915	66-8822
潜竜聖母幼稚園		江迎町田ノ元503-6	66-9427

※順不同で掲載しております。

発行
企画・編集

デザイン・印刷

平成25年3月
佐世保市保健福祉部保健福祉政策課 TEL0956-24-1111
佐世保市社会福祉協議会 TEL0956-23-3174
文巧社印刷

江迎地区地域福祉活動計画

“自慢”がいっぱい！
江迎町

～ 感動と笑顔にあえる町 ～



江 迎 地 区 福 祉 推 進 協 議 会
佐 世 保 市 ・ 佐 世 保 市 社 会 福 祉 協 議 会

【１】江迎地区ってこんなまちです

（江迎地区の紹介）

平成２２年３月３１日、佐世保市へ編入合併した江迎地区は、長崎県本土地域の最北部、北松浦半島中心部を町域とし、佐世保市の中心市街地から北西へ約２０kmの場所に位置しています。江迎川が東から西へ横断しており、北西部は半島に切り込んだ江迎湾に接し、北部・南部には丘陵地が広がっています。

江迎は古くから交通の要衝であり、江戸時代には平戸藩の本陣が置かれ、平戸往還の宿場町として栄えました。

〔佐世保市における江迎地区の位置〕



また、北松浦半島では半島内の各地域で石炭を産出し、北松炭田として栄えました。そのためかつては町内にも数ヶ所の炭鉱がありましたが、１９６０年代にすべて閉山し、現在は農業が中心です。

町おこしの一環として始められた「繭玉（ちりめん細工の飾り玉）」は、今や江迎地区を代表する手工芸品の一つとなっており、毎年春には「肥前えむかえ繭玉まつり」も開催されています。

（江迎地区の名所）

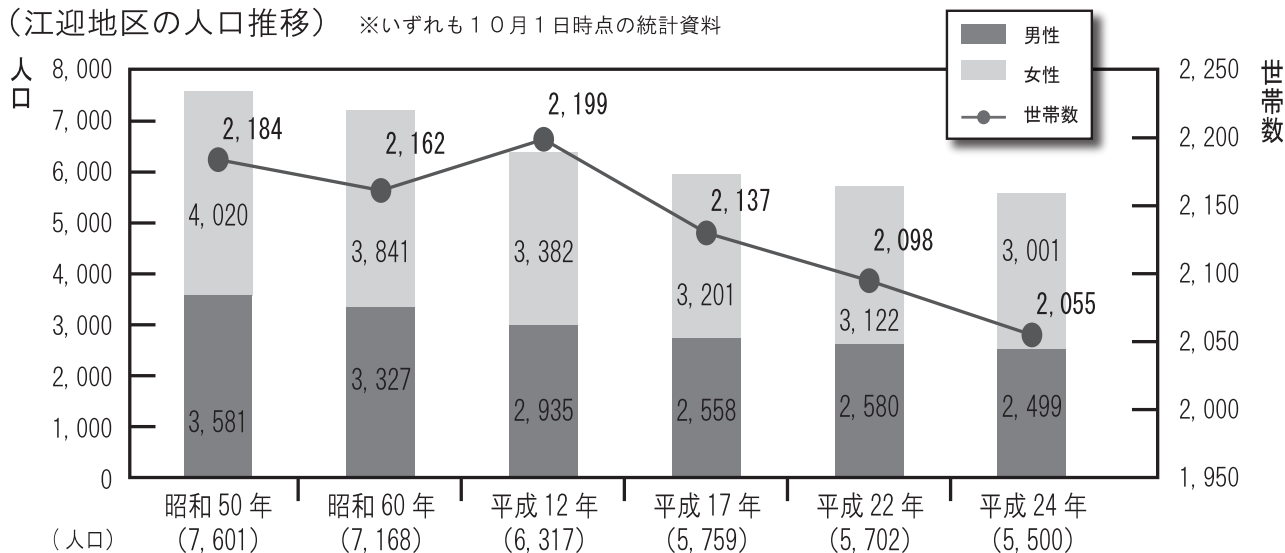
■ 潜龍ヶ滝（平戸八景）

■ 長崎県立白岳国民休養地（白岳公園）

■ 高岩（平戸八景）

■ 江迎本陣跡（県史跡）

（江迎地区の人口推移） ※いずれも１０月１日時点の統計資料



(江迎地区“わがまち自慢”)

江迎地区には“自慢”がいっぱい！その一部を紹介します。

景 勝 地

高岩は平戸街道江迎宿の手前にそびえる大きな砂岩の岩山です。北松八景の一つで国道204号線からも見ることができ、松浦鉄道・高岩駅前にそびえたっています。また、高岩の下を流れる江迎川には高岩から崩落した大きな岩がいくつも苔むして横たわっています。11月になると高岩の絡まっているツタが紅葉となりとても美しいです。(他に…白岳公園、潜龍ヶ滝など)



ま つ り

毎年、8月23日・24日の2日間、賑やかに開催されるのが「千灯籠まつり」です。平成元年には「日本一に挑戦」と銘打ち、日本一高い25メートルの灯籠タワーづくりに成功しました。それまで1,200個だった街路の灯籠も人々の協力により9,200個に増加し、その数でも日本一となっています。祭り当日の夕闇が迫るころ、町中の灯籠が一斉に点灯され、町は一面幻想的な光の世界へと変貌します。(他に… 繭玉まつり、クリスマスファンタジアなど)

文 化 財

江戸時代、平戸藩は江迎を通り佐世保を経て東彼杵までの「平戸街道」を通して参勤交代を行っていました。国道204号線そばにある建物は、参勤交代のおりにかならず藩主が宿泊した宿舎(本陣)であり、平戸藩主松浦熙(ひろむ)が天保元年(1830)に再整備したもので、長崎県下でも唯一当時のまま残っている貴重な文化財です。また、山下家は元禄年間(1688～1704)から酒造りを行っている旧家で、当時の酒母蔵が残っており長崎県指定文化財となっています。(他に… 長坂浮立、きねかけ祭り、水かけ地藏など)



農 業

グリーンツーリズムと連動した黒大豆の栽培や、米をはじめとして肉用牛、イチゴなどの生産が盛んに行われています。

【2】江迎地区を支える団体（順不同）

江迎地区町内連合会

江迎地区町内連合会は、30地区の地区長で構成し、地区内全般の円滑な運営及び発展に寄与することを目的に相互の連絡、調整、協力及び親睦を図っています。

また、各地区が抱える諸問題を協議するほか、行政との連絡調整を行い、地区内の振興に努めています。



江迎地区民生委員児童委員協議会

江迎地区民生委員児童委員協議会は、民生委員児童委員16名、主任児童委員2名で構成されており、毎月定例会を開催し、地域住民の問題把握と解決のために話し合いを行っています。また、高齢者の安否確認や、登下校時の児童の見守り、子育て支援事業、食事サービスなどへの参加・協力も行っています。



江迎地区老人クラブ連合会

町内の18の単位老人クラブからなり、会員数は約800名です。毎月理事会を開催し、年間行事計画に基づいて各行事に取り組んでおり、会員の親睦と健康維持を基本としながら、高齢者の見守りや清掃活動などの地域貢献も積極的に行っています。



江迎地区3校PTA連絡協議会

江迎地区は2小学校と1中学校の校区です。保護者と教師が協力をし、児童生徒の豊かな成長を願って共に考え、協力しながら笑顔あふれる学校を支えています。また、登下校時の見守りやPTA新聞の発行など、地域と学校の連絡役としても保護者一丸となって活動しています。



江迎地区地域婦人会

社会教育団体として、社会教育に関する事業や地域社会の問題などに「婦人の立場」から、特に環境問題に力を入れ取り組んでいます。それらの活動を通じて、地域の連携を高めることができ、ふれあいのある人間関係づくりに大きな功績を残しています。



江迎地区青少年健全育成会

町内の学校、PTA、民生委員などのメンバーが集まって構成され、次の世代を担う子どもたちが、安全な環境の中で健やかでのびのびと、たくましく成長していくことを願い、心を育てる活動、命を守る活動、地域とのふれあい活動をおこなっています。



江迎地区文化協会

昭和48年11月15日、11団体が加盟して「江迎町文化団体協議会」として発足し、その後、昭和57年に「江迎地区文化協会」と改称されました。

事業としては、毎年文化祭を行うとともに機関誌を発行し、その他講演会を催すなど各種の文化事業を行っています。



江迎地区生涯学習推進会

生涯学習社会にふさわしい学習の基盤を整え、江迎の特性を活かした魅力的で活力あるまちづくりを進めています。また、地域の人たちの交流や、学習の場として、文化祭などの文化的な活動や、体育・レクリエーション活動、まちづくりやふるさとづくりなどの活動を行っています。



【3】江迎地区福祉推進協議会の紹介

どのような団体？

江迎地区福祉推進協議会（略称：福推協）は、地域住民の身近な困りごとをはじめ様々な情報を把握し、その解決に向けた活動などに地域の多くの団体や住民が連携して取り組み、安心して暮らすことができる地域づくりを進めるという大きな役割を担う組織です。

江迎地区福推協は、平成23年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒に様々な活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

町内連合会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、生涯学習推進会、PTA、学校、地域婦人会、行政など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

福推協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

定例会の開催

江迎地区の福祉問題の把握と、その解決に向けた話し合いを、一人ひとりがアンテナ役となり、年3回程度開催しています。

広報誌の発行

地域住民の福祉意識の向上と福祉活動への参加促進、福推協活動のPRなどのために、「福推協だより」を年2回程度発行しています。

交通安全帽子の贈呈

江迎・猪調小学校の4年生を対象に、毎日の登下校時の安全を願い、毎年黄色い帽子を贈呈しています。

ベンチの寄贈

毎年、要望があった地区にベンチを寄贈しています。住民の皆さんに安心して利用していただきたいと思います。

これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことで、さらに充実した活動になればと願います。地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。

【4】江迎地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”って何？

もっと住みやすい江迎のまちにするために、地域の人々がいろいろなことを話し合ったのが、“お茶の間トーク”です。

参加された皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、一緒にまちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

お茶の間トーク

テーマ：「地域のことを見つめなおそう！」

～みんなに出来ることを探そう！～

日 程：平成24年12月9日（日）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは江迎地区にちなんだクイズをグループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う江迎地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加された皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見したりと、いい機会になったようです。

※下のようなことが多く出されました。



【よかところ】

○自然がいっぱい

○伝統文化・行事が素晴らしい

○病院が多く、医療に安心感がある

【気になるところ】

○商店の減少により買い物が不便

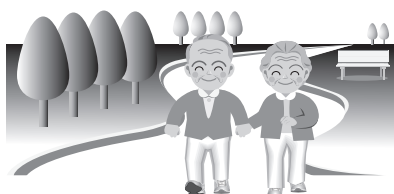
○ゴミの分別や不法投棄が多い

○子どもが安全に遊べる場所が少ない

誰もが住みたくなる町づくりを目指して！

①生活しやすい環境づくり

年次計画		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
①		←-----→	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→
②		←-----→	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→
③		←-----→	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→



- ①商店が減少しており交通機関も少なく不便なため高齢者の買い物が困難である。
- ②町中にゴミのポイ捨てが見られ不法投棄も多い。また家庭から出るゴミの分別がなされていない。
- ③美しく自然豊かであるが山林が荒れており手入れがなされていない。

課題

5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
①仲良くご近所同士、誘い合っの買い物ができるまち	各団体の協力を得て、各商店に、買い物マップなどの作成についての理解を得る。	地区内の商店の買い物マップを作成し、各世帯へ配布・周知をする。	町内での買い物の推進と、人との絆づくりなどを学ぶことで、見守りにもつなげる。
②探しても見つからないゴミ。綺麗で清潔なゴミステーションがあるまち	市の環境部などの協力を得て、各地区で講習会を実施する。	看板を設置し、ゴミ出しについて住民への周知を行う。	住民の理解を図り、クリーンボランティアの育成に努める。
③自然が美しいまちであり、山林が整った豊かな自然が多いまち	わが町の自然のよかところ探しなど、環境学習を行う。	土地提供者を募り、そこでの無農薬野菜や花づくりをすすめる。生ゴミを活かした堆肥づくりや史談会の協力を得た、ウォークラリーなどの開催を検討する。	

②人と人とのネットワークづくり

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
年次計画	①	←-----→		←-----→	←-----→	←-----→
	②	←-----→	←-----→		←-----→	←-----→



- ①挨拶をしても返事が返ってこないなど、大人同士の関わり、近所付き合いが希薄化してきている。
- ②かぎっ子や一人暮らし、ひきこもりがちな高齢者が多くなっている。

課題

5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
①大人同士または、大人と子どもたちでの会話が明るく響いてくるまち	各団体の協力を得て、人の絆について講演会などの学びの場の企画・実施をする。	学校・家庭などにおいて、あいさつの大切さなどの学びの場を推進する。	人の繋がりにおける防犯・防災並びに絆づくりに努める。
②気軽に相談ができ、ご近所または地域での見守り活動が強化されているまち	民生委員児童委員、主任児童委員、地区長と連携し実態把握を行う。	民児協を始めとする各種相談員や相談所のPR及び広報啓発をする。	講演会などの開催により、見守りネットワークの推進及び強化を図る。

③みんなが集まる場所づくり

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
年次計画	①	←-----→	←-----→	-----→	←-----→	-----→
	②	←-----→	-----→	←-----→	←-----→	-----→
	③	←-----→	-----→	-----→	←-----→	-----→
	④	←-----→	←-----→	-----→	-----→	←-----→



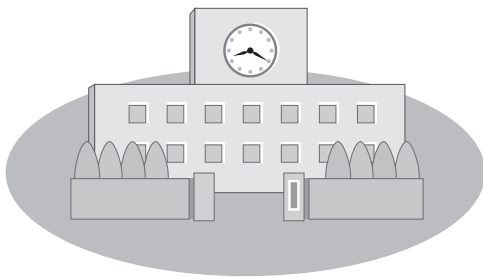
- ①高齢者が多く地域活動や伝統行事を行うことが困難になっている。
- ②町内行事の参加者が少なく町全体の活気がなくなってきた。
- ③子どもが安全に遊べる場所(公園など)が少ない。
- ④地域交流の場や世代間交流の場がない。

課題

5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
①各地区の行事だけでなく、隣接する地区と共同で行事を行い、高齢者の顔と顔で笑顔に満ちあふれるまち	自治会の協力を得て、各地区で開催されている行事の把握を行う。	各地区での会合の折、隣接する地区の住民の協力・理解を得る。	地区同士の協力・理解による行事及びイベントの開催及び新規開発に努める。
②子どもから高齢者まで、参加できる活気あるイベントがあるまち	各団体の協力を得て、「えむかえイベント実行委員会」などの基盤づくりを行う。	「寄ってみんねえむかえ」交流人口を増やす。	各団体の協力を得て、子どもから高齢者まで参加できるイベントを企画する。
③各地区にある公園を拠点に、子どもたちが元気に外を走り回り活気があるまち	地区長、老人会、育成会などの協力を得て、各公園の実態把握を行う。	公園マップの作成及び世帯配布を行い、地区内の公園の周知を行う。	各団体の協力を得て、親子での公園遊び、子ども達の居場所づくりを推進する。
④初めて会う人とも気軽に挨拶ができ、世代を超えて人の笑顔があふれるまち	江迎地区以外での世代間交流事業に係る情報収集などを行う。	各団体の協力を得て、江迎地区にあった交流事業を企画・実施する。	実施後の振り返りを行い、毎年交流事業が継続出来るよう努める。

④安全で安心な町づくり

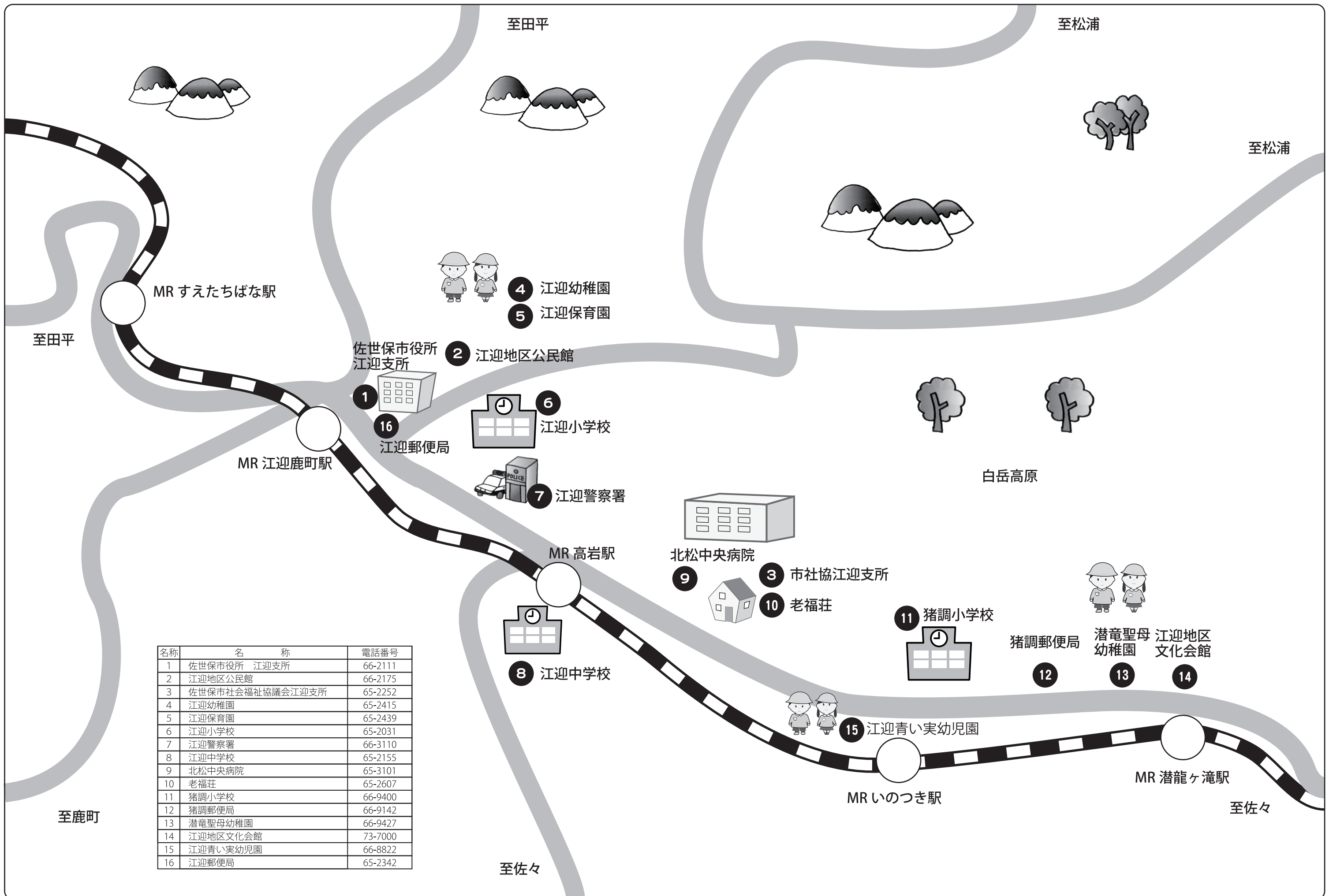
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
年次計画	①	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→
	②	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→
	③	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→



- ①危険な通学路があり、子どもの登下校が心配である。
 ②災害時の避難場所が明確になっておらず、また不適當な場所もある。
 ③町全体の危険場所を町民が理解していない。

課題

5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
①危険箇所を把握し、安心して登下校できるまち	区長、民生委員児童委員、警察、育成会の協力を得て、モデル地区を選定し、通学路の実態把握を行う。	既存の通学路マップの見直しを行う。 (危険箇所記入)	モデル地区の検証を行い、全地区の通学路マップの見直し及び世帯配布にて、地域住民への周知・見守り強化の推進に努める。
②災害時などに、速やかに避難できる自信があるまち	住民に災害時における対策強化の周知を行う。	消防局などの各関係機関の協力を得て、講習会などを行うとともに、防災訓練などの企画・実施を行い日頃から災害などの緊急時の対策を推進する。	
③地区内で危険箇所の把握を行い、誰もが安心して外出できるまち	各団体の協力を得て、危険箇所の実態を把握する。	広報誌などを活用し危険箇所の周知を行い、子ども、高齢者の外出時の安全面の強化に努める。	



【6】江迎地区地域福祉活動計画策定委員会

江迎地区の地域福祉活動計画を策定するにあたり、江迎地区福祉推進協議会の構成員を中心とした「策定委員会」をつくり、「地域福祉“お茶の間トーク”」で出された意見の整理や計画の原稿作成などを行いました。



（策定委員）

町田 實純	松崎 数馬
林 逸夫	井元 正治
山本 勝美	静間 昭浩
森 登	末永 茂代
山崎 智士	末武 由紀子
松田 秀彦	久田 友子
山口 文秀	山村 チズ子
鴨井 鐵太郎	

（順不同）

江迎を想い、
江迎のために考えました！
ぜひ、読んで、
一緒に参加してください！

江迎地区福祉推進協議会 会長 町田 實純 （江迎地区地域福祉活動計画策定委員長）

平成24年12月に「もっと住みやすい江迎にするため」の話し合い、住民座談会「地域福祉“お茶の間トーク”」を開催いたしました。その中では、地域の「よかところ」「気になるところ」についての意見が出され、参加された皆さまが納得したり、見過ごしていたものや新しい発見があったりと、私たちが住んでいる町を改めて見つめ直すことができました。

その意見を基に、江迎地区地域福祉活動計画策定委員会で協議検討を重ねて、今回地域福祉活動計画を策定いたしました。

これからは、少子高齢化という時代の変革が進む中、「“自慢”がいっぱい！江迎町」のために、まちづくりには行政の施策だけではなく、地域住民の皆さまの助け合い、そして意識を変えていくことが必要だと思われます。

本活動計画は、地域住民の皆さまの声でもあり、これからの地域福祉の推進のために反映できれば幸いです。

最後になりますが、この度、江迎地区地域福祉活動計画『“自慢”がいっぱい！江迎町～感動と笑顔にあえる町～』の策定におきましては、ご協力いただいた策定委員の皆さまをはじめ、地域住民の皆さまに対しまして厚くお礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

【7】ごあいさつ

佐世保市長 朝長 則男

これからの社会においては、私たち行政サービスに加えて、住み慣れた地域の中で市民一人ひとりが互いに支え合う「地域福祉」を進めることが大切です。

この地域福祉活動計画は、それぞれの実情に合った地域福祉を進めるために、地域の皆さんが主体となって策定されたものです。その内容には、住民座談会「地域福祉“お茶の間トーク”」などを通じた、地域の皆さんの意見が色濃く反映されています。

この冊子を通じて、ご自分が住んでいる地域についての理解をさらに深め、今後取り組むべき内容を共有していただくことで、より良い地域づくりが進んでいくことを期待しております。

行政としましても、地域の皆さんによる取り組みへのサポートを行いながら、地域の皆さんと一体となって地域福祉の実現に努めてまいります。

終わりに、この計画を策定するにあたりご協力いただきました福祉推進協議会をはじめ関係者の皆様に、心からお礼を申し上げます。

佐世保市社会福祉協議会 会長 中山 恒夫

この度、ここ江迎地区において、江迎地区地域福祉活動計画『“自慢”がいっぱい！江迎町～感動と笑顔にあえる町～』が策定されましたことに、心からお慶び申し上げます。

この計画は、住民座談会「地域福祉“お茶の間トーク”」で自分たちの住んでいる地域の「よかところ」「気になるところ」を話し合い、そこで出された地域の様々な生活課題を解決するために考えていただきました。地域のみなで、また一人ひとりにできる具体的な取り組みに加え、まちの歴史や自慢など地域性豊かな内容となっています。

私たち佐世保市社会福祉協議会にとっても大変意義のある計画であり、地域の中で支え合い、安心して暮らせるまちづくりに向けた皆さんの活動を支援させていただくと共に、地域福祉推進の担い手である社会福祉協議会の役割を果たすべく、職員自らも皆さんと一緒に頑張ってまいります。

最後になりましたが、計画策定にあたりまして、多大なご尽力をいただきました江迎地区福祉推進協議会をはじめ、地域の皆さまに対しまして、厚くお礼を申し上げます。